

あけましておめでとうございます

'99 新春座談会



新年あけましておめでとうございます。
昨年は4月に美・サイクル館がオープンし、留萌でも本格的なごみのリサイクル処理が始まりました。11月末で約5,500人もの見学者が訪れたというのは、ごみ問題に対する関心の高さを物語っています。留萌市のごみのリサイクル率は7割で、これは全国でも驚異的な数字。8種類分別にご協力いただいた市民のみなさんのおかげです。

12月には、新しい市立病院が着工し、平成13年夏のオープンを目指しています。保健福祉センター「はーとふる」の建設も平成12年春の完成を目指し進めています。

礼受高台の風力発電の風車も、ごみ問題と同じく、地球環境を守る、クリーンエネルギーを活用するという観点で、「環境にやさしいまちづくり」の一環です。

高規格道路も深川から秩父別までの12kmが部分開通し、留萌管内も本格的な高速交通の時代を迎えました。港との連動で道北地域の物流システムを完成させるためには欠かせない道路です。一年でも早く完成するように今年も頑張ります。

長野オリンピックでは、スノーボードの武山香里さん、クロスカントリーの大高友美さんが、留萌出身としてはじめてオリンピックに出場しました。また、ヤクルト球団の監督に、若松勉さんが就任しました。北海道からはじめてのプロ野球監督の誕生です。

景気も低迷し、市の財政は厳しいですが、市民のみなさんのご協力で、昨年いろいろな仕事ことができましたことに感謝申し上げますとともに、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成11年もみなさんが元気に活躍されることをご祈念申し上げます。



平成10年を振り返ると…

市長 あけましておめでとうございませう。今年、商店街の活性化やリサイクル、まちづくり運動などに活発に取り組んでいる4人の方々をお迎えしました。

昨年はみなさんにとってどんな年でしたか。

笹川 美・サイクル館のオープンは待ち遠しかったですね。萌の会での牛乳パック回収は10年前に、大切な資源をこのまま捨てていいのかもしれない、主婦の立場でできることは何だろうと思っ始めていました。当時は、留萌が資源再利用に取り組むとは思っていませんでした。70%のリサイクルは夢がかなった感じがします。

市長 牛乳パックを回収して緑化運動をしていると聞きました。が、**笹川** 昔はまち中に並木がありました。やすらぎ、うるおいを感じます。1本でも多く木を植えたいと思っています。

江戸 商業人として留萌に生まれ育ち、二代目、三代目と頑張っています。大型店の動きを指をくわえて見ているわけにはいきませぬ。このままだと自分たちの子供に店

を継がせる状況にはならない。それで4年前にフロンティアクラブを作りました。
昨年は拓銀の破綻もあり、再開への出店でも、力のある企業はほとんど拓銀がメインバンクで、現実には余裕がないという状況でした。
昨年感じたのは、留萌に必要なもの、足りないものは各々認識を持っていて、現実的に留萌でやるうとしてもなかなか難しい。信

念を持って、留萌に必要なことを最後まで責任をもってやり遂げる。大きなアドバランを上げてやるのではなく、必要なものをコツコツと時間をかけてやる。それが結果的に将来の留萌を作るきっかけになるといえることが分かりました。
土田 郊外店ができ、商店街の交通量や歩行者の激減は予想したとおり。楽観的ではあるが、逆に、ものごとがはっきりした1年でした。大型店にはない生き方が商店街にはある、小売業者には違ったコンセプトがある。汗を流さないと何もできないということを痛感

しました。ごみの分別は、最初不可能だと思いましたが、市役所の担当者が何度も通って、説明会を行う中で、できそうな感じがしてきました。お互いにリスクを負って、汗を流せばできるということが分かった。
「個店の繁栄は地域の繁栄」と商人塾では掲げました。まず個店が店先を磨こう。次ぎに磨く元気のある人間が集まって何をやるか。中心市街地活性化法にどう乗っていくのか、腹決めの時期。暗い中でも、新しい歴史、発想を見いだせるような感じがした年でした。
室本 昨年、青年会議所の活動では、留萌市の財政基盤について研究し、税金の使い道を子供にも分かるように解説しました。一般の家庭の家計に見立て、「わが家の台所事情」として発表し、留萌市の財政は火の車という結論がでました。もう1度、財政基盤を見直し、改革が必要です。

それに続いて、まち未来プロジェクトでは「明日の風はJICから」ということで、8月に創作劇を作り、上演しました。二〇二〇年の留萌はどうなっているかをメンバーで考え、こうなって欲しいというイメージを市民に提言しました。メンバー一人ひとりがこれ

